令和３年度第１回石狩市総合戦略推進懇話会　議事録

【日　時】　令和３年８月５日（木）10：30 ～ 11：40

【場　所】　花川北コミュニティセンター　２階会議室Ａ・Ｂ・Ｃ

【出席者】　13 名（16 名中）

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	角川　幸治	○	委員	小林　卓也	○	委員	髙梨　朝靖	○
副会長	竹口　尊	×	委員	小山　玲子	○	委員	德光　康宏	○
委員	秋田谷　順子	○	委員	酒井　志津子	○	委員	林　美香子	○
委員	尾田　真	○	委員	佐藤　拓也	○	委員	原　俊彦	×
委員	河野　明美	○	委員	品川　洋之	○			
委員	小島　義昭	○	委員	白井　かの子	×			

※正副会長を除き、あいうえお順

【ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ】北海道石狩振興局地域創生部長　守山 英男

【事務局】企画経済部長 小鷹 雅晴、企画経済部次長兼企画課長 中西 章司、企画課主査 橋本 麻里子、企画課主任 本庄 あゆみ

【傍聴者】１名

【角川会長】

皆様おはようございます。本日は大変お忙しい中、第１回石狩市総合戦略推進懇話会にご出席をいただきまして、本当にありがとうございます。

本懇話会は１年ぶりでしょうか。昨年度は第１回を７月 27 日に、その後 10 月 11 月に予定されていた第２回はフィールドワークの予定だったんですけど、こちらは中止になりまして、今に至ります。本当に１年ぶりです。皆様のお元気な顔を拝見できまして嬉しく思います。

この１年間を振り返ると、コロナ禍がいまだに続いているということで非常に残念です。ワクチンの接種のほうも、先日、私も年齢的にようやく案内が届いたところです。春先あたりから考えれば、１年以上も続くなんて思いもよらなかったですね。

この懇話会も、今回何とか開催ということになりましたが、開催を決めた後にまん延防止等重点措置が発令になったので、どうしようかなというところもあったんですが、ここはしっかりコロナ対策をしながら、しかも短時間に収めていくということで、今日お集まりいただいております。時間も通常は２時間ほどやらせていただくんですけども、１時間に限定させていただいて、窓も開けてちょっと暑いんですけども、１時間で収めるように進めてまいりますので、ぜひその中で濃い議論を、凝縮された議論をさせていただきたいので、よろしくお願いいたします。

なお、本日は、竹口副会長、原委員、白井委員につきましては都合によりご欠席となっております。それでは最初に小鷹事務局長より一言ご挨拶をお願いいたします。

【事務局（小鷹部長）】

皆様、小鷹でございます。本日はお忙しい中、またコロナ禍の中、そしてこの北海道が何十年ぶりかという猛暑の中、このようにお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃から市政運営にご理解とお力添えをいただいておりますことを、この場をお借りいたしまして、改めてお礼を申し上

げたいと存じます。

令和元年度に策定いたしました第２期総合戦略は、令和２年度から令和６年度までの５年間の計画となっております。昨年度は開始年度でございまして、地方創生の更なる推進に向け取り組むところでございましたが、新型コロナウイルスのせいで、本市においても中止する事業が多くなったところでございます。そんな中、イベントの web 開催やオンラインショップの開設、YouTube による配信など、オンラインを活用した新たな取組にチャレンジするというようなこともありました。

本市のコロナウイルスの関係でいいますと、ワクチン接種のほうは、りんくるや南コミセンなどで実施していて、私どもも運営をやらせていただいています。７月までに高齢者の１回目は 87%から 90%くらい終えておりまして、２回目も 80%くらい終えております。これで高齢者の方々の希望する分は、ほぼ完了しているかなと考えてございます。７月 30 日には 50 歳以上の方々にクーポン券を配布させていただきまして、今後５歳刻みくらいで出していこうと考えてございます。ただ報道等でもご案内のように、ワクチン自体の供給がしっかりと来ていないという、報道と同じ現状でございまして、接種のスピードを上げるにも、なかなか難しいオペレーションをしている状況でございます。しかしながら、接種も国民全体で４割くらい進んでいることも考えますと、少しずつ光が見えてきたのかなと考えてございます。引き続き、感染症予防対策と社会経済活動の両立を図りながら、地方創生に取り組んでまいりたいと考えてございます。

最後になりますが、本日も皆様方から様々なご意見、ご闊達なご議論をお願いしたいと存じます。簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【角川会長】

ありがとうございます。それでは、次第に沿って進めてまいります。事務局から説明をお願いします。

【事務局（橋本主査）】

事務局の橋本でございます。今年度もよろしくお願いいたします。

最初に、委員の変更についてご報告いたします。人事異動により、北洋銀行花川北支店の小渡委員が異動されました。後任の 小島 義昭 様 でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

次に、事務局を紹介いたします。企画経済部次長 兼 企画課長の中西です。企画課主任の本庄です。

続きまして、委員の皆様に,資料のご確認をお願いいたします。

・次第
・資料１　総合戦略推進懇話会（令和３年度）
・資料２　総合戦略推進懇話会委員名簿
・資料３　第２期石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略　令和２年度実績概要
・資料４　第２期総合戦略　令和２年度実施事業一覧
・そのほか、冊子の「第２期石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

以上の資料につきまして、本日お持ちでない場合はお知らせください。なお、本会議は傍聴可能な公開形式となっております。また、会議の記録のため、今後写真を撮影する場合もあるかと思いますのでご了承願います。

それでは、今年度の懇話会についてご説明いたします。まず、概要・スケジュールについて、資料１をご覧ください。第２期総合戦略の計画期間は令和２年度から令和６年度までの５年間となっております。今年度は令和２年度に実施した事業の効果検証や意見交換を行い、施策や事業のブラッシュアップを図りたいと存じます。

次に、スケジュールですが、１回目は本日８月５日、２回目は、例年 10 月頃に市内を視察するフィール

ドワークを開催しておりますが、昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら開催を見送りました。今年度については、10～11 月頃に開催したいと考えておりますが、やはりコロナの状況によっては、開催を見送る場合もございますことをご了承願います。私からは以上です。

【角川会長】
ありがとうございます。ここまでで何か質問等はありませんか。

＜なし＞

【角川会長】
次に次第３「令和２年度実施事業の点検・評価について」を事務局から説明をお願いいたします。

【事務局（橋本主査）】
それでは、令和２年度実施事業の点検・評価についてご説明いたします。「資料３　令和２年度実績概要」をご覧ください。第２期総合戦略においては、６つの戦略目標ごとに数値目標及び重要業績評価指標（KPI）を設定しておりますが、こちらの資料は令和２年度の実績をまとめたものになります。

まず「１．戦略目標別数値目標の進捗状況について」をご覧ください。数値目標については、１から６までの戦略目標に対し、それぞれ２つの指標を設け、第２期総合戦略の最終年度である令和６年度を数値目標としています。表の右側に、令和２年度における実績値を記載しています。12 ある指標のうち、⑤市内産業売上高についてですが、経済センサス活動調査は今年度実施しており、結果はこれから公表になるので除いています。それ以外の 11 の指標のうち、令和２年度時点では、③年少人口、⑨転入・転出者の均衡、⑪人口の３指標（約３割）が達成、それ以外の８指標（約７割）が未達成でした。未達成の指標のうち、①地域活動に関わりをもつ新現役世代の人数、及び⑦交流人口数については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたと言えます。

次に、「２．施策別重要業績評価指標（KPI）の実績について」をご覧ください。全 65 項目のうち、Ｓ評価の KPI をすでに達成しているものは２項目（３％）、Ａ評価の KPI の達成に向け、着実に取り組まれているものは 34 項目（52%）、Ｂ評価の KPI の達成に向け、事業の改善や見直し等が必要であるものは 29 項目（45%）でした。Ｓ又はＡ評価は 36 項目で、全体の約６割に留まりますが、新型コロナウイルス感染症による影響を受け、当初の目標に届かなかった 20 項目を除く 45 項目の中では、約８割がＳ又はＡ評価となり、概ね良好な水準にあると言えます。私からの説明は以上です。

【角川会長】
ありがとうございます。やはりコロナウイルスの影響が出ているのかなと思います。それでは、事務局から説明がありました「令和２年度実績概要」についてご意見等がございましたら、感想等も含めてお願いします。

＜なし＞

【角川会長】
それでは引き続き、事務局から説明をお願いします。

【事務局（橋本主査）】
続きまして、「資料４　第２期総合戦略 令和２年度実施事業一覧」をご覧ください。

こちらの資料は、６つの戦略目標ごとの具体的な施策において設定した、重要業績評価指標（KPI）について、令和２年度の実績値及び実績内容、令和３年度の予定、担当課の評価を記載したものになります。懇話会委員の皆様には、これらの項目について、懇話会としての評価が「担当課の評価どおり」であればＡを、「改善や見直しが必要」であればＢを、というようにご評価いただきたいと存じます。また、皆様からご意見等をいただいた項目については、その意見を担当課へフィードバックし、今後の方向性を担当課が検討することを考えております。

本日の進め方は、まず事務局から戦略目標１と２，３と４，５と６のように２つずつ内容を簡単にご説明いたします。その後に、皆様からご意見をいただきたいと存じます。特にご意見等がない事業は、Ａの「担当課の評価どおり」とさせていただければと思います。

それでは、「戦略目標１『新現役世代が活躍する』」についてご説明いたします。資料は１～２ページ、番号は１～10になります。戦略目標１全体をとおして、担当課評価はＡが２項目、Ｂが８項目でした。Ｂ評価が８割を占めていますが、これは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種講座やふれあいサロン、認知症カフェ、屋内のスポーツ大会は延期や中止せざるを得なかったためです。しかしながら、屋外で距離が十分に確保できるウォーキングイベントは開催することができ、多くの人が参加しました。令和３年度においても、人が多く集まる行事は、コロナの影響は避けられませんが、その中でも感染防止対策を講じた上での開催を検討するとしています。

次に「戦略目標２『子育て力』をさらに発揮する」についてです。資料は３ページ、番号は11～18になります。戦略目標２全体を通して、担当課評価はＡが４項目、Ｂが４項目となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、婚活事業や図書館まつり、４月から６月の寺子屋教室は中止となりました。一方で、市民図書館で実施している科学の祭典は、子どもたちや市民に科学を楽しんでもらうイベントとして毎年実施していますが、令和２年度は初の試みとしてwebで開催し、科学動画を配信するなど、形を変えて実施しました。

12から14番は当課で実施している結婚新生活支援事業です。若者の結婚の希望を叶え、少子化対策や市内への移住を促進するため、新婚世帯の住居費及び引越費用の一部を補助するものですが、令和３年度は、年齢をこれまでの34歳以下から39歳以下に、所得要件は340万円未満から400万円未満に緩和し、助成額を25万円から最大60万円へ拡充して実施しています。

17番のKPI「待機児童数通年０人」についてですが、令和２年度実績は16人となっています。こちらは、令和３年１月１日現在の人数を計上していますが、令和２年４月１日現在では０人、７月１日現在では２人、10月１日現在では２人と推移しました。なお、令和２年度から、保育士の人材確保を目的として新たに設けた「保育士等就職奨励金」ですが、こちらは市内の認定こども園など、新たに保育士として勤務する方や、その後一定期間継続勤務した方を対象に奨励金を交付するもので、令和２年度は７名に交付しました。また、保育に係る周辺業務を行う保育支援者を配置するための費用を一部補助し、保育士の業務負担の軽減を行いました。

最後に、１件ご報告がございます。本懇話会でも何度かご意見いただきました、小児科の誘致についてです。令和３年度から新たに助成制度を創設しました。内容は、市内の小児医療体制の充実を図るため、新規開設にあたって、最大5,000万円を助成するというもので、現在、誘致活動を行っております。これまで道内外から、数件の問い合わせが寄せられていると聞いております。私からの説明は以上です。

【角川会長】

ありがとうございます。それでは「戦略目標１と２」についてご意見、ご感想がございましたらお願い

いたします。

＜なし＞

【角川会長】

随所にコロナの影響があるということで、非常に残念ではあります。ここは我慢していただくしかないのかなというところが多々ありますけれども、例えば戦略目標１では、コロナの影響で地域交流の場やスポーツ大会が中止や延期になったとのことです。酒井さんにお尋ねいたします。商工会議所でもいろいろと中止になっていますが、例えばイベントに関して、本業のお話で恐縮ですが、お花への影響などお話しいただければなと思います。

【酒井委員】

ありがとうございます。花屋業界全般としてはかなり大変で、当店は昨年の３・４・５月、４月まではやっぱり大変でした。それで農業、生産、販売、ここがお花が余るとか、なげるとか、そういう感じがすごく全国的に多くて、また消費する人も少なくて、やはりかなり打撃を受けたということは確かです。ただ、政治的なものがあったみたいで、応援のバックアップがかなり活かされたのかなっていう部分は感じております。あとは家にいらっしゃる方がすごく多くなって、個人でお花を飾るとか、それから出かけられないので、ネットを使ってのお花の外注とか、そういうのはすごく全国的に増えておりまして、今年の母の日に関しては、倍まではいかなかったんでしょうけど、かなり売り上げが伸びたという話は聞いております。お花に関してはそういうことで、今回この暑い中で、農業だとか、生産者はかなり大変なんだろうなと。そういう中から、農業、市場、花屋、ここに関しては関連性がかなりあるものですから、やはりここは頑張り時なんだろうなと。それぞれが今、みんな努力してるんだろうと思っております。

【角川会長】

ありがとうございます。同じく本業のほうのお話をお聞きしたいのですが、徳光さん。同じくコロナによる影響っていうのは、何かありますでしょうか。

【徳光委員】

そうですね、影響はかなりありますね。飲食は本当に、もろに影響を受けているのが実態です。特に中心部ですよね。札幌にも２店ありますけど、大通店はマラソンのスタート地点になるんですが、ほぼ半減的な状況であります。対して、ネット販売とか、そういったところは伸びてはいますけれども、カバーしきれないというのが現状かなあと思います。今、原材料に関しても、すべて海外からの輸入物になりますので、産地も今、コロナで大変な状況になっているようですね。輸出に関してもやっぱり今、徐々に影響が出てきています。産地はやはり重要な収入源になりますので、国の政策上、きちんとフォローしてきているんですけど、２年ぐらい経とうとしているので、水面下で相当今、生産国側も影響が出始めているという状況です。今後数年間、どういう形でいけばいいのかっていうのも、考え直さなければならないタイミングに来ているかなと思います。

【角川会長】

ありがとうございます。もう一つだけ。今度は地域活動への影響なんですけれども、地域活動に尽力されている秋田谷さんにもお尋ねいたします。同じくコロナの影響で、各種講座や高齢者のふれあいサロンといった活動にも影響が出ていますが、そちらの方はいかがでしょうか。

【秋田谷委員】

仕事柄、まちづくりのNPOに所属しておりまして、地産地消講座ですとか、屋外で生産者のもとに赴き、お話を聞かせていただくなどの講座を行っております。コロナの影響で、申し込み人数は逆に若干増えています。皆さん外に出たいんだなというのが、ひしひしと伝わってきます。ただ、私たちも対策のことを考えて、バスの大きさや人数を削減しながら、何とか対応しています。皆さん、フラストレーションが溜まっているといいますか、実際、石狩落花生研究会っていう研究会の事務局もしているんですが、昨年度の会員数は140名ぐらいだったのに対して、今年は200名を超えました。秋の収穫にだけ来るという会員の方もいるんですけれども、何かそういったイベントを求めているのかなと感じます。

【角川会長】

私も参加させていただいていて、楽しみにしています。ありがとうございます。

戦略目標２の子育て力の話題なんですけれども、こちらの方をお話しいただきたいと思います。例えば17番「待機児童」のところをご覧いただいて、令和２年度から保育士等就職奨励金を交付して、人材確保を行っているということなんですけれども、品川さんにお聞きしたいんですが、保育士の労働状況について、何か声は寄せられているかどうか、よろしければお願いできますか。

【品川委員】

品川です。よろしくお願いいたします。今、会長のほうからお話があった部分ですね。連合北海道として保育士の労働環境についてお話が聞こえているのは、保育士さんはエッセンシャルワーカーで、コロナ禍においてもお仕事を休むことができないというような状況です。昨年の１月頃から北海道でもコロナが広がってきて、このコロナ禍で石狩市内では保育園自体が休園しているとは聞いていないんですけれども、当初はやはり未知のウイルスということで、保護者の方が自主的にお子さんを預けないということで、預かる件数は減ってはいたみたいです。

やはり１年２年とコロナが続いて、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置など、だんだん皆さんが慣れてきているという現状があって、今ではお子さんを預ける件数は、通常に戻っていると聞いています。その中で、保育所の方は集団感染だとか、そういった部分でのリスクを負いながら対応をしていて、そこはかなり気をつけて対応している。最近は石狩でも、保育士の方たちや学校の先生などを含めて、ワクチンの優先接種の対象にもなったということで、かなり安心をしているようです。ただ、100％の予防率ではないので、継続して感染予防をしながら、子どもたちの対応をしている、ということを聞いております。以上です。

【角川会長】

ありがとうございます。それでは引き続き、戦略目標３と４について事務局から説明をお願いします。

【事務局（橋本主査）】

次に「戦略目標３『地域資源』からモノやしごとを創る」について、資料は４～６ページ、番号は19～35になります。戦略目標３全体をとおして、担当課評価はＳが１項目、Ａが12項目、Ｂが４項目となり、概ね順調に事業が実施されています。Ｓ評価となったのは、25番「加工品の開発数５年間で５件」です。令和２年度は道の駅運営会社等が新商品を開発し、実績は12件となり達成しました。そのため、KPIを５年間で５件から５年間で30件に上方修正いたします。また、令和２年度からの新たな取組として、21番「地場産品の知名度向上の取組」、29番「水産物の販路拡大の取組」として、道の駅や石狩湾漁協浜益地区においてオンラインショップを開設し、ネット上での石狩産グルメセットや魚介類の販売を始めました。

次に「戦略目標４『いろんな顔』をつくる」について、資料は７ページ、番号は 36～42 になります。戦略目標４全体を通して、担当課評価はＡが４項目、Ｂが３項目となりました。新型コロナウイルスの影響で、公設の海水浴場開設はライフセーバーの確保が難しく中止したほか、休館・時間短縮により道の駅入込客数や市民図書館の入館者数に大きく影響しました。新たな取組として、密を避けられるとして人気が高まったサイクリングについては、途中に立ち寄れる魅力的な風景やグルメスポットを盛り込んだ、日本語版と英語版の動画を制作して公開しました。また、謎解きイベントや厚田キャンプ場での手ぶらでキャンプ体験など、コロナ禍においても地域の魅力を発信し、感染対策を講じながら楽しむことができるように工夫して誘客を図りました。私からの説明は以上です。

【角川会長】
ありがとうございます。さて、戦略目標３では農水産物についての項目が複数ありますが、小林さんにお尋ねいたします。コロナによって飲食店では休業や時短要請により食材の需要が減った一方で、自宅での食事機会が非常に増えて、巣ごもり消費が増加した１年だったかと思います。農産物の動きはいかがでしたでしょうか。

【小林委員】
おっしゃるとおり飲食店は本当に厳しい状況で、私としても普段お世話になっている飲食店に何か協力をしたいけれども、結局お客さんが来ないことには、飲食店も作ってなんぼなので、大変厳しい現状ですよね。一方で、人口が減っているわけじゃないですから、胃袋の数は変わらないので、生産自体はとれのさとや市場、うちの直売所でむしろ増えていて、売り上げが増えているのが現状です。外食に行けない代わりに、家で食べるものにちょっとお金をかけようかという、先ほどのお花の話と通じるものがあると思うんですけど、そんな具合です。
去年、学校が休みになった時は学校給食がなくなり、学校に食材を提供しているところは非常に大変でしたよね。あらかじめ量が決まっているものが、急に途絶えてしまうっていうのはなかなか。今年に関しては、この暑さが何より。昨日ようやく雨７ミリ降りましたけど、これは１か月ぶりなわけです。フェイスブックとかを見ていると、ちらほら種蒔いたもの苗植えたものが全部枯れてしまったとか、市場でもブロッコリーとか白菜とかは値段が乱高下しているような状況です。このコロナに加えて、この暑さ。温暖化の影響なのか分からないですけど、干ばつで農家の疲弊は大きいですね。案外この干ばつって、一般で生活していると、ただ暑いなとしか思わないんですけど、どうせ水をあげるからいいんでしょなんて思われたりするんですけど、そんな大きな面積に水をやるっていうのは、地下水を汲み上げるだけでも燃料代はかかるわけですし、限界もあるわけです。だからといってそれを値段に反映できない。トウモロコシが半分しか取れないから値段に、というわけにはなかなかいかないというのは、生産者として苦しいところです。

【角川会長】
ありがとうございます。コロナにしても猛暑にしても、なかなかよくはならないですね。
ほかに戦略目標３と４について、何かご意見ありませんか。私の方からお聞きすることが多くて恐縮ですが、小山さんにお聞きしたいんですけど、戦略目標４の 40 番「販路拡大の取組数」のところで、厚田こだわり隊のイベント出店とありますが、昨年度の活動状況について、もしよろしければ教えていただけますか。

【小山委員】

小山です、よろしくお願いいたします。昨年もこだわり隊で、厚田の豚まんや望来豚を使ったフランクをメインで、イベントなどに持って行っているんですけれども、やはりコロナの関係で、イベントが…。やろうかなと思ったら、道の方からいろいろな要請が出てきまして、結局はやらないで終わることが多かったですね。こだわり隊としては今、きたキッチンさん関係で旭川や厚別、大通の丸井今井さんのところに豚まんを発送させていただいています。製造はしても在庫として残っているので、自転車操業まではいかないですけど、結構大変なことが多いです。今年もやはりイベントはことごとくダメで。でも５月の連休は、とれのさとさんに声をかけていただいて、そこで販売させていただきました。でも、とれのさとさんのお話ですと、いつもはまだまだたくさんの方が並んでらっしゃるらしいんですが、今年は意外と寒いのもあって、なかなかお客さんも来られていなかったようです。

私は厚田に住んでおりまして、道の駅に毎朝お掃除のお手伝いに行っているんですが、開店は９時半なのに、その前からお客さんが並んでいます。とれのさとさんみたいに、野菜関係がそんなにたくさん並んでいるわけじゃないんですけど、なぜかたくさん野菜を買って行ってくださるんですね。ですから皆さん、やはり地元で採れたものっていうのは、すごく魅力があるんだろうなと思います。朝市も、こないだまでウニとホタテをやっていまして、朝早くにお客さんが来られてウニを買って行かれる。ですから、海のほうはそんなに影響を受けてないんじゃないかなって思います。これからあきあじの漁になりますけれども、どうなんですかね。あまり獲れないってことをテレビで言っているので、心配だなと思っております。やっぱり先ほど言われていたように農産物ですね。とうきびは全然身が入っていないし、ブロッコリーがあまり大きくなってないっていうのは、農家さんから聞いております。なすも小なすとか、普通の長なすをつくっているんですか、道の駅に入荷してくるのがすごく遅くなりました。ですから、この猛暑の影響がすごく出ているんじゃないかなと思います。こだわり隊としては、今年はイベントは無理かなと思っております。以上です。

【角川会長】

いろんな情報いただきましてありがとうございます。それでは引き続き、総合戦略の５と６のご説明をお願いいたします。

【事務局（橋本主査）】

続きまして「戦略目標５ 誇りとなる『人や文化』を育てる」について、資料は８～10 ページ、番号は 43～55 になります。戦略目標５全体をとおして、担当課評価はＡが５項目、Ｂが８項目となりました。新型コロナウイルスの影響により、姉妹都市留学生の派遣・受入はロックダウンにより中止、また、スポーツ祭りやカローリング大会、３大秋祭りも感染拡大防止のため中止となりました。

44 番「文化振興事業（kitara ファースト・コンサート）」についてですが、こちらは石狩管内における文化的な教育活動を促進するため、小学校６年生に札幌コンサートホール kitara で、オーケストラ演奏などの鑑賞機会を提供するものです。こちらもコロナのため中止となりましたが、札幌交響楽団等において作成した DVD を小学校へ配布し、子どもたちが文化芸術を体験する機会を提供しました。

55 番の KPI「ふるさと納税の寄附件数５年間で７万件」は、新たに追加した項目です。ふるさと納税が地域の関係人口を増やす有効なきっかけとしてとらえ、新たに設定したもので、令和２年度は 13,461 件で、令和元年度 5,389 件を大きく上回りました。

次に「戦略目標６ 時代にあった地域として持続する」について、資料は 11～12 ページ、番号は 56～65 になります。戦略目標６全体をとおして、担当課評価はＳが１項目、Ａが７項目、Ｂが２項目となり、概

ね順調に事業が実施されています。S評価となったのは、65 番「本市に企業版ふるさと納税を実施した企業数５年間で２件」です。令和２年度は２社から合計 110 万円の寄附をいただきましたので、達成となりました。そのため、KPI を５年間で２件から５年間で５件に上方修正いたします。なお、寄附金は令和３年度の厚田学園スクールバス購入事業及び生涯学習講座開催事業に活用する予定です。

57 番「空家活用促進事業制度利用件数」についてですが、空家活用促進事業は、市内の空家を購入した場合 25 万円を助成し、市内事業者を利用したリフォームや、18 歳以下の子どもと同居、市外からの転入で石狩の事業所で勤務する場合には加算があり、最大 100 万円を助成する制度です。令和２年度はこれに加えて、「空家宝化プロジェクト事業」を開始しました。こちらは、空家を購入し除去した後に再販する、または、空家を改修した後に再販する事業者に対して、費用の一部を補助する制度で、これまでの空家活用促進事業と連携することで、長期間空家となっている物件の流通促進を図るものです。令和２年度の空家活用促進事業は 23 件、空家宝化プロジェクト事業で 15 件の空家を除却し、そのうち２件が購入につながりました。令和３年度は、空家活用促進事業を新事業の「新生活様式スタート支援事業」に組み替えて、住宅のリフォーム費用や空家等購入費用の一部を最大 20 万円補助する事業を実施しています。私からは以上です。

【角川会長】

ありがとうございます。戦略目標５はコロナの影響で非常に厳しいですね。６の方は前向きな取組提案があると思いました。

ここで河野さんにお伺いしたいと思うんですが、戦略目標の５の 45 番に姉妹都市留学生の派遣・受入が中止になったとありますけども、石狩市には外国人技能実習生が数多くいます。実は当社にもいて、非常に勤勉で働き者なんですね。コロナのみならず、災害も増えてきた中で、外国人への情報提供、情報発信というものはますます重要になってくるんじゃないかなと思うんですけども、何か難しい点や工夫すべきことなどが、もしあれば教えていただきたいなと思います。

【河野委員】

すみません、外国人の方へ広報を届けるっていうことについては、まだ検討しておりません。今は、新港地域において、希望があって広報紙を届けている企業が 633 件あります。実はこれは年々増えています。そこの中から、外国人の方へもということが今後出てくることはあると思いますので、それには備えていこうというふうに思っています

【角川会長】

ありがとうございます。これについて数字はありますか、市内にいる実習生の数だとか外国人の数。

【事務局（中西次長）】

すみません、今手元に数字はないんですが、毎年毎年着実に増えているという実態と、今現在は恐らく 400 人ぐらいの数字になっているんじゃないかというふうに考えています。

【角川会長】

河野さんにお聞きしたいのは、広報誌の発行ということで、やはり文字を読めるかということも大きな問題になってきますけど、当社の例でいうと２人いて、１人は結構読み書きできるんですけど、ただやっぱりあまりできないですね。個人差もありますし、もちろん意欲もありますよね。それは、会社あるいは受入先でしっかり教育をしてあげなきゃならないですよね。ただ、若い子たちであれば、かなり覚えも早

いので、本気になってくれるとすぐ覚えてくれると思いますので、そういった仕組みなんかもこれからできていければいいなあというふうに思っています。

【河野委員】
実は今、広報は一部、電子書籍形式で発信しておりますので、そういう中から充実を図っていくということが、今後私たちが取り組まなければならないことだと思っています。

【角川会長】
ありがとうございます。次に髙梨さん、55 番を見ていただきたいんですが、ふるさと納税について、令和２年度は好調だったということなんですけど、何か傾向とか、風潮というか、そういうのがあればお聞かせいただきたいなと思います。

【髙梨委員】
昨年は２月の、ちょうど緊急事態宣言が出たあたりぐらいから、急に巣ごもり需要というものがあって、米が多かったです。２年度に関しては１位から５位まで全部米というような感じでした。その前の年とかは、石狩鍋セットが一番多かったんです。自宅で消費するということが増えましたし、サイトは昨年３件だったんですが、途中から 14 か所に増やしたという影響もあって、一気に増えたというような感じです。

【角川会長】
ありがとうございます。３支店長様にそれぞれお話を聞かしていただきたいのですが、コロナ禍における地域経済の動向について、この機会にそれぞれお話しいただきたいのですが、まず、佐藤さんからよろしいですか。

【佐藤委員】
北海道信用金庫の佐藤です。令和２年度におきましては、政府による無金利の、そちらの方をしっかりと対応させていただいたというところでございまして、現状、石狩市内において大型倒産といった情報は、あまり皆さん聞いていないと思いますが、私ども含め北洋さん道銀さん、しっかり力を合わせて対応した結果だと思います。ただ、やはり残念ながら厳しい状況に陥っている企業もございます。ただ、政府の方から、コロナ禍における影響については弾力的に相談に乗り、弾力的に条件変更にも応じなさいという麻生大臣の言葉が活きておりまして、正直申しますと今、条件変更の申し出というのは少しずつ出てまいりましたが、そこはしっかりと対応して、まず既存の企業を守る、これを前提に取り組んでおりますので、その点はご安心していただきたいと思います。私からは以上です。

【角川会長】
ありがとうございます。尾田さんお願いします

【尾田委員】
北海道銀行の尾田です。前も言ったかもしれませんけれども、コロナの影響を大きく受けて、何かしてほしいという相談は、当行のお客様ではあまりいない状況です。今、佐藤支店長がおっしゃったように、そういう相談が来ればきちんと対応するということになっていますけど、それほど私どもの支店では相談を受けていなくて、むしろ業績がいい会社、コロナで特需を受けている会社が一方ではあるというような状況です。格差なのかもしれません。私も２年半くらいになりますが、非常に悩ましい相談というのは、

今のところほとんどないような状況です。使命を果たせてないような、そういった気がしますけど、ただ非常にいいことなのでそこは安心しています。一方で、コロナかどうかわかりませんが、石狩で土地を探している人、最近すごく住宅用地を探している会社や業者がいっぱいあって、コロナとの関係はわかりませんが、空き家対策にとっては水を差すのかもしれませんけど、そういう業界というのは今、土地ないか土地ないかとやっているので、コロナの影響を受けず、業績のいい会社もいろいろあるんだなというのが、最近の実感です。

【角川会長】
ありがとうございます。小島さんお願いします。

【小島委員】
初めまして、北洋銀行花川北支店の小島と申します。よろしくお願いいたします。７月１日でまだ１か月程度なので、そこまで石狩市のことを完全に把握していないんですけど、コロナの対応につきまして、銀行としての対応としては、融資の視点というところがまず第一なんですけど。国と道の無利子融資が去年の５月に始まり、今年の３月で終了ということで、その間、石狩市もそうですが、札幌市内にいたんですが、影響としては飲食を中心にかなり影響がある。そういった中でコロナ融資は積極的に使っていただいて、最大１年分の不足を補うような形で融資させていただいたお客さんもありました。そういった中で１年が経過して、コロナ融資の制度もかなり終わりまして。事業の状況は変わらない、なかなか１年分借りたものがだんだん枯渇しているという、再度借りなきゃならんというお客さんも出てきている状況です。そういった中で国の方では、事業の再構築っていうのは補助金制度のほうやってまして、その辺の相談もかなり銀行では受けています。新たなビジネス業態の事業転換、新しい事業を開始する方の相談も徐々に受けている。それに対して補助金をつけると、一部銀行で支援させていただいているというところをやっております。コロナ対応はそんな感じです。
初めてこの総合戦略の全体を見させていただいて、銀行としてどんなことができるのかを考えてみたんですけど、当たり前かもしれませんが、地場特産品の PR 活動とか販路の拡大とか、この辺は銀行で何らかの対応ができるのかなと。それから企業誘致のお手伝いですね。これもたくさんネットワークがありますので、お手伝いできるのかなと。それからもうすでにやっていますけど、空き家対策。この辺も個人であればローンなどのご相談だとか。企業誘致のところをあえて言わせていただくと、誘致させてもらった企業の社員の方々がどこから通っているかというと、石狩市外から車で通勤している人が結構いらっしゃるのかなってところで、どうやって石狩市内に住んでもらうか、これが課題なのかなと思っています。いろいろお客さんのお話を聞くと、感じるところはあります。やはり住みやすい環境づくりだとか通勤手段を見直したり、住宅の整備などが必要なのかなと思います。住宅については、企業さんの考え方ですけど、社宅を石狩市内につくってもらって、そこに住んでもらうとか。空き家を社宅扱いにしてもらって、社員を住まわせて、石狩市民になってもらうこともいいのかな。それなら、例えば社宅を建てるのであれば、そこに助成しますよだとかがあってもいいのかなと。企業誘致をして雇用を創出して、石狩市にお金を落としてもらうということも、なんとか推進できればと思った次第でございます。

【角川会長】
はい、ありがとうございます。何と言っても地元経済、銀行様に支えていただかなければならないので、これからもよろしくお願いします。それでは全体を通して、ここでぜひ林先生に、情報提供及びご意見、ご感想等お聞かせいただきたいと思います

【林委員】

林です。私も久しぶりに参加をさせていただきました。今の説明の中でちょっとやっぱり残念だなと思ったのが、戦略目標５でＢが多かったことです。コロナの影響を本当にたくさん受けてしまったんだと思うんですが、誇りとなる人や文化を育てる、その１年間、ちょっと空白になってしまったことの弊害が、何年か後にものすごく出てしまうんじゃないかというのが心配です。今年に関してはいろいろやる予定になっていますが、コロナの影響があっても、すぐに中止というふうにならないように、例えばオンラインで何とかできないかとか、石狩の人たちが、本当に地域の文化や人のことを知り、次に繋げていくような活動という意識を持ってやってほしいなというのを感じました。コロナの影響はいろんなところに出ていて本当に大変だなと感じていますけれども、例えば、体験を受け入れている酪農家が、やはりなかなか来てもらえないということで、オンラインで体験農場見学というのをしまして。それはお土産を付ける形で有料のイベントにしたところ、例えば企業の福利厚生のイベントですとか、あるいは労働組合のそうしたイベント親睦会等に利用してもらうというような可能性もあるそうです。いろんなことを工夫していくと、みんなも本当に出かけたいとか、何か新しいものを見たいという思いもあると思うので、ぜひ工夫をして実施してほしいなということを思いました。以上です。

【角川会長】

ありがとうございます。本当に、ただできない、だめだった、じゃなくて、何とか工夫をしていくということで、これからも進めていただきたいと思います。まだまだ皆さん方からご意見をいただきたいんですけど、ごめんなさい。こういう状況をご理解いただきたい。

最後になりますが、今日は石狩振興局守山部長様に来ていただいております。全体を通して、石狩管内をはじめ、道内の各自治体の動向等を含めまして、お話しいただければなと思います。

【オブザーバー（守山部長）】

石狩振興局の守山でございます。お世話になっております。今日、皆様のお話をいろいろお聞きしていますと、やはりこの１年半続いておりますコロナの影響が相当程度、皆様のご負担になってるといった状況であろうと思います。北海道といたしましても、いろんな対策を講じながら、感染抑制に向けた取組を行っているところではございますけれども、なかなか収まっていかないといった状況になっています。ニュースでもご存じだと思いますが、昨日も全国で最多の１万 4,000 人の感染者数が出て、東京も 4,000 人を超えているといったようなことで、北海道にも８月２日から、まん延防止等重点措置が今月いっぱい適用になっております。北海道としても、大変心苦しいんですけれども、いろいろなお願いを皆様にお願いしながら、感染抑制に向けた取組を行っていかなければならないというふうに考えておりますので、引き続き、ご協力いただければと思ってございます。

そうした中でも、こういったコロナの中、今日お話を聞いていると、巣ごもり需要の影響や、加工品の生産数が目標を上回ったり、ネット販売を開始したりと、そういったプラスの要素があったり、全国的に見れば、やはり東京圏の感染が多いってことで、ずっと続いていた転入超過の動きも若干減って、地方への関心も高まっているのではないかといったお話も出ています。国の方でもこの地方創生の取組の中で、そうした地方への関心の高まりを受け、またコロナ禍ということでテレワーク環境というものも進んでいるということで、地方への人の流れの創出に向けた取組を強化していこうということで、移住定住という形になっていくと思いますが、そうした動きになっております。

また、企業についても、地方への企業の移転ということで、石狩市については石狩湾新港に企業が、最近ではコストコができたり、ニトリさんも来るというお話もあって、好調な部分もありますので、コロナは負の部分もありますけども、プラスに働くような要素も見つけながら、引き続き、取り組んでいただけ

ればなと思ってございます

また最後、コロナになりますが、先ほど全国で、という話をしておりまして、正直今日、まん延防止等重点措置になって、札幌市内が重点区域ということで、外出自粛等を市民の皆様にお願いしております。その他の市町村におかれましても、札幌への移動の自粛、往来の自粛というお話があったものですから、今日参加するのもどうなのかなというふうに思いましたが、不要不急ではないということで参加をさせていただきました。また、足元の状況を見ますと、やはり４月５月にかなり感染者数が増えて、大変な状況であったものが、今再現されてきてございます。正直なところ、７月の４連休の影響がまだ出ているのか出ていないのかわからない状況であるのと、明後日からの３連休、さらにはお盆休みということで、人が多く移動する時期になってきております。知事のほうからも、皆様へのメッセージを出させていただいておりますが、この夏休み期間、お盆期間においては、できる限り帰省だとか旅行だとかは控えていただくように、おうちで過ごしいただけるようお願いしてございます。昨日も、感染者数 300 人を超えて出ている状況です。そうしたことを踏まえて、数字的なものを見ると、本当に５月のときの再現、もしくはデルタ株、感染力の高い株が多く占めてきているという状況を鑑みますと、今後は非常に懸念されるような状況となってございます。皆様からも、大変苦しい苦しいというお話をいただいてございます。最初に小鷹部長のほうからお話がありましたが、ワクチンのほうは高齢者の方も８割９割ぐらい進められているということで、一般の国民も全国では４割程度ということで進んでおります。ワクチンが進んで本当にこの感染が抑えられるのかどうかというところもありますが、少なくとも重症化がかなり少なくなってきている部分もありますので、そうしたことに期待を寄せるとともに、今現在の状況でできることについて、皆さんで取り組んでいかなければならないのかなと思っております。そうした中で、北海道としてもできることについて、進めてまいりたいと思います。

感染防止向けたお話が多くなりますけれども、このオリンピックですとか、夏のこの雰囲気で気が緩むような状況ではありますが、今一度、気を引き締める必要があるのかなというふうに、北海道として思っているところでございます。雑ぱくなお話になりましたけれども、私の方からは以上になります。

【角川会長】

守山部長、大変ありがとうございます。非常に大変な中、苦しいお立場でのお話だと思うんですけども、皆さんぜひご協力よろしくお願いします。それではお時間になってしまいましたので、総括のほうに行きたいと思います。戦略目標の１から６まで、全部 65 項の事業の点検評価ということですけども、全体としてここは、というものございますか。

＜なし＞

【角川会長】

もしなければ、個々の担当課評価という部分は、Ａの部分では評価どおりということ、そしてＢの改善や見直し等が必要ということであれば、さらにこれをＡに向けて努力をすると先ほどありましたね。いろんな取組を克服しながらやるということで、この評価どおりということでよろしいですか。

＜「はい」の声＞

【角川会長】

ありがとうございます。今後、事務局と担当課で協議して、今後の方向性についてまた検討していただくということでいきたいと思いますので、よろしくお願いします。それでは、令和２年度実施事業の

点検評価のほうを終了いたしまして、次第４「その他」について、何かございますか。よろしいですか。なければ事務局より皆様方にご連絡をお願いします。

【事務局（橋本主査)】

３件ご連絡いたします。まず１件目、本日ご議論いただきました、令和２年度実施事業の点検、評価についての結果は、後日皆様にお送りいたします。

次に２点目、本日の会議録についてですが、事務局で作成し、会長にご確認いただいた後、皆様に配布いたします。

最後３点目ですが、冒頭でも少しお話いたしました２回目の懇話会は、市内を視察するフィールドワークを予定しておりますが、コロナウイルス感染症の状況によっては、開催しない場合もございますことをご了承願います。

また、本日、林委員から情報提供いただきまして、明日８月６日 19 時から 20 時まで「おいしい野菜を食べてもっと元気に」ということで、オンラインイベントを開催されるということです。こちらのイベントには、林委員のほかにも、はるきちオーガニックファームの小林委員も一緒に参加されるということで、YouTube でのライブ配信となっております。検索画面で「くらしごと」と検索すると見られるということなので、皆様ぜひご覧になってください。私からは以上です。

【角川会長】

８月６日でしたね。明日ですね。「くらしごと」で検索すれば、あるいは林先生のお名前で検索すればいいですね。

【林委員】

明日、ライブ配信の後、アーカイブ配信もする予定ですのでぜひご覧いただけたらと思います。夜７時から１時間の予定で考えております。よろしくお願いいたします。

【角川会長】

ありがとうございます。楽しみにしています。

それでは残念ながらお時間になってしまいました。第２回が実施されることを私も期待しております。それまでコロナが本当に少し収まってくれればなというふうに心から願いまして、それでは第１回の石狩市総合戦略推進懇話会を終了いたします。本日はありがとうございました。

令和３年８月 18 日　議事録確定

石狩市総合戦略推進懇話会　会長　角川　幸治